



いわきの子

〈学校教育目標〉「ふるさとに誇りをもち たくましく生き抜く 子どもの育成」

岩城小学校
学校便り
第51号
R4.11.15
文責：佐藤

北ブロック授業実践研究会

11月11日（金）は、由利本荘市北ブロック授業実践研究会の会場校として市内の小学校の先生方や岩城中学校の先生方に集まっていただき、久しぶりに公開研究会を行うことができました。

3年生の学習は、総合的な学習の時間「岩城いいところフェスティバル」でした。子どもたちの希望から神社を中心に、その他にも地域の施設や自然についても見学をして、これまで調べ学習を続けてきていました。たくさんの体験を基にその内容をPTA授業参観でお家の方々に伝えたいということで、本時は「どうすれば岩城のよさを伝えられるのか」と考える時間になりました。「熊野神社」「松ヶ崎八幡宮」「内道川神明社」「からす沼」「不動の滝」などのグループに分かれて、グループ内で意見を出し合い、また、他のグループとも交流することでさらによいものをつくろうと真剣に取り組む子どもたちの姿が見られました。参観した先生方からも、子どもたちのがんばる姿や岩城地区の素材の豊かさを評価していただきました。

5年生の学習は道徳で、主題は「自分に誠実に生きる」でした。「手品師」という教材を読んで手品師の揺れ動く気持ちや行動に共感できるかどうかを数値化し、タブレットを使用して「心の数直線」に表して意見を出し合いました。共感度は50%くらいから100%と開きがあり、その理由も実に様々でした。その多様な考えを全体の中で発表し、互いの考えにうなずきながら共感したり、「？」と思ったりしながら、考えを深めることができていました。参観した先生方からは、「道徳でタブレットを使用している授業を観るのは初めてだ。」「全員の気持ちが視覚化されていて有効だった。」などの感想があり、話題性のある授業提示ができたと考えています。



岩城小学校の代表としてがんばってくれた2学年の子どもたちに拍手です！協議会では課題も見つかりましたので、さらに職員一丸となって授業力を高めることができるように努力していきたいと思ひます。

校外学習へのご協力 ありがとうございます

3年生は、10月下旬から11月上旬にかけて4回の校外学習を行いました。

熊野神社では、菊地武晴宮司様に資料も作成していただき、ていねいに神社の歴史等について説明をしていただきました。内道川神明社でも同様に菊地宮司様から説明をしていただき、子どもたちが来るのであれば・・・と氏子総代や代表の堀井清見様、堀井紘一様、星川徹様も迎えてくださり、昔の地域の話から「からす沼」の伝説等についても教えていただきました。暖房まで用意していただき、子どもたちもその（暖かさも含め）温かさを感じ取ってきたことと思います。

松ヶ崎八幡神社では、松尾典秋宮司様が神社の建物や奉納された大きな絵馬等について説明してくださいました。3つ目ともなると、子どもたちはそれぞれの神社と似ている点や異なっている点等を注意深く聞き取っていたように思います。

最後は、「岩城まち歩き案内人の会」会長佐々木裕三様に説明をしていただきながら、龍門寺～不動の滝～高城山～道の駅を見学しました。前日まで雨が降っていたので不動の滝まで下りることができるのか心配しましたが、安全に気を付けながら迫力ある滝とマイナスイオンを体感してきましたようです。

このように岩城小の子どもたちの学びは、地域の皆様に支えていただいております。ありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。



ブックフェスティバル開催中!

図書委員会の企画で、10日～30日までに1冊本を借りるとパズルのピースが1つもらえ、学年ごとにパズルを完成することができます。どんな絵になるのかな?

